

安心して暮らせる 嵐山町を目指して

～小川警察署長に
インタビューしました～



小川警察署長 千種 寿代 (ちくさ ひさよ)

岐阜県出身、小学生時代より埼玉県に転入。昭和57年に埼玉県警に入庁。鉄道警察隊長を経て、平成30年度より現職（小川警察署長は明治18年より102代目）。座右の銘「すべていさぎよし」。

埼玉県警では、防犯・交通安全のため日夜活動しています。小川警察署では、嵐山町をはじめ、小川町、ときがわ町、東秩父村を管轄しています。今回は埼玉県に39ある警察署のうち唯一の女性の署長である千種署長へインタビューを行いました。

—小川警察署に着任して7か月が経ちました。嵐山町の印象はどうですか。

自然豊かな土地柄もあり、住民の方も穏やかな方が多いように感じます。また、町内の防犯や交通安全キャンペーンには、大変多くの方に参加していただいています。防犯意識が高い地域であるという印象があります。

—嵐山町で気に入っている場所はありますか。

金泉寺、嵐山溪谷、ラベンダー園など観光マップに載っている名所は訪れました。どこも素晴らしいです。

中でも自然の風景が印象的で、健康づくりも兼ね、嵐山町を含めて管内の山に登っています。大平山にも登りましたよ。遠くまで見渡せる眺めが印象的でした。忙しくて行けていませんが、赴任中に管内の山は制覇できればと思っています。

—埼玉県内唯一の女性警察署長という

います。

また、電子メール等を使った架空請求の手口も巧妙化しており、20～30歳代の方が被害にあうケースも見られます。

—どのように交通安全や防犯対策をすればいいのでしょうか。

交通安全対策では、埼玉県警としてキラメキ3H（トリプルエイチ）運動を推進しています。この運動では、3つのH、早めのライト点灯、反射材の着用、歩行者保護を重点に交通事故防止を図っています。皆さんもご協力ください。

今年度、嵐山町では死亡事故は発生していませんが、車に乗っている以上、いっどこで起こるか分かりません。被害を受けた方も加害者も、その後の人生は一変し仕途なものとなります。万が一はありませんが、互いに譲り合いの気持ちをもって、マナーを守った運転を心掛けてください。

—次に、防犯の対策をお願いします。

万引き対策としては、死角が犯罪を生むことが多いため、入店を知らせるチャイムを鳴らすことやお客様への声掛けが効果的です。

空き巣対策としては、まず、戸締りをしっかりと行うようお願いします。そして、地域での声掛けも重要です。以前、

ことですが、これまでの経歴をお聞かせください。

初めは川口署の地域課に配属されました。そのあとは、生活安全部門を中心に署や本部などのさまざまな部署を異動し、平成30年3月、鉄道警察隊から小川警察署に、着任しました。鉄道警察隊では、チカンや振込み詐欺の対策に取り組みました。

—射撃の選手だったそうですね。

1988年のソウルオリンピックと1992年のバルセロナオリンピックに出場させていただきました。ソウルではライフル射撃のエアピストル種目で、バルセロナではエアピストルとスポーツピストルの両種目で出場させていただきました。結果は入賞できませんでしたが（ソ



右) ソウルアジア大会の金メダル
左) エアピストルの標的

検挙された空き巣の犯人が、「声掛けができていた地域は避けるようにしている」と言ったという話を聞きました。地域内での声掛けや住民同士のつながりは、防犯にも役立ちます。

管内の車上荒らしや農機具の盗難は、作業などで少し車両から離れたときに多く発生しています。少しでも車両を離れた場合でも、鍵を掛けましょう。農機具の盗難も同様です。

—最後に今後の抱負、決意をお聞かせください。

「嵐山町から犯罪をなくしたい、死亡事故ゼロを継続していきたい」です。住民の方々の協力なくして実現はできません。皆さまのご協力をお願いします。

—ありがとうございました。



手にしているのはオリンピックに出場したときの日本代表のブレザーです

安心して暮らせる嵐山町を目指して

ウルでは22位、バルセロナでは31位、36位)。
—すごいですね。その他国際大会に出られたことはありますか。
1986年のアジア大会（ソウル）に出場し、団体で優勝することができました。表彰台で国歌を聞いたときは鳥肌が立ちました。
—埼玉県警では2例目の女性警察署長として、注目されていると思います。大変なことやよかったことなどはありますか。
自分の中では女性だからといって、特段大変だと思つことはありません。女性の目線で地域の安心につながるがあれば、活かしていきたいと思っています。
—嵐山町または小川警察署管内の現在の交通安全や防犯等の状況についてお聞かせください。まず、交通安全の状況は、いかがですか。

昨年に比べ死亡事故、人身事故、物損事故の全てで減少しています。ただ、駐車場のブレーキとアクセルの踏み間違いや信号待ち時クリープ現象での追突など、小さな事故は発生しています。また、飲酒運転の検挙もあり、予断を許さない状況が続いています。
管内の特徴としては、先が見通せない



急なカーブが多いように思います。脇見運転やスピード超過により、はみ出して運転しているケースもあるため、安全運転を呼びかけています。

—次に、防犯の状況をお願いします。

年度の初めは、万引きや農機具の盗難が目立ちました。車上荒らしや空き巣は継続して発生しており、10月には空き巣が連続して発生しました。

警察として特に対策を強化しているのは、振込み詐欺をはじめとする特殊詐欺です。今年の被害額は、県全体では約13億円に上り、管内でも1,000万円を超えています。

県内では警察や銀行協会職員などをかたり、事前に暗証番号を聞きだし、キャッシュカードをだまし取る被害が増えて